大賞

第24回
ふるさとイベント大賞

内閣総理大臣賞

地獄の谷の鬼花火

登別温泉は、自然湧出量が1日1万トンを誇る豊富な湯量と、世界的にも珍しい9種類もの泉質が湧出していることから「温泉のデパート」と呼ばれています。北海道遺産である「登別地獄谷」や「大湯沼」のほか、近年は大湯沼川から流れ出る「天然の足湯」が人気を博し、北海道を代表する観光地として近年では年間400万人近い観光客が訪れています。

「地獄の谷の鬼花火」は、平成12年の有珠山噴火により観光客数が減少していたことや、旅館・ホテル完結型の観光形態により商店街の活気が失われていたことに危機感を抱いた協会関係者や地元の若者が中心となり、登別温泉の新たな魅力づくりを目的に平成18年から始まりました。登別地獄谷を舞台に、毎年6、7月の毎週木曜日と金曜日の午後8時30分から実施しています。

人々の幸せを願い、厄を持ち去るために登別地獄谷にすむ湯の護り神「湯鬼神」たちが、銅鑼や太鼓の音とともに舞台へと登場します。そして、人々の厄を集めるための舞を踊り、銅鑼の音に合わせながら8㍍もの火柱が上がる手筒花火を夜空に放ちます。イベントを締めくくる6本打ちは、火柱の勢いと響き渡る銅鑼や太鼓の音が地獄谷に響き渡り、噴火にも似た迫力のある演出が多くの観光客を魅了します。

イベント終了後には、湯鬼神たちとの記念撮影が行われるなど観光客との交流が図られています。このイベントは、旅館やホテルにとどまりがちだった観光客を外へと誘い出し、終了後は多くのお客様が商店街を周遊するなど地域の活性化に大きく寄与しました。また、演者・警備・交通整理などの運営は、登別の街づくりを担う市民団体「元鬼協議会」、登別市職員、企業関係者など市内各地域から集まる多くのボランティアが担っており、地元住民の郷土意識高揚にも貢献しています。

主催者メッセージ

第24回ふるさとイベント大賞にて、栄えある大賞をいただき誠にありがとうございます。何よりうれしいのは「地獄の谷の鬼花火」をボランティアで支えてくれるスタッフの努力が報われたことだと思います。この受賞を励みとして全国に誇れる地域イベントとして育てていく決意です。皆さんのご来泉をお待ちしています。

（一社）登別国際観光
コンベンション協会 係長
中平 將さん

開催DATA

自治体名	北海道登別市
自治体人口	47,675人 ※R1.12末現在の住民基本台帳人口
主催団体	（一社）登別国際観光コンベンション協会、登別市
開催回数	14回
開催日	6月1日～7月31日（毎週木曜日、金曜日）
開催場所	登別地獄谷展望台周辺
観客数	30,000人

評価のポイント

●湯の守り神「湯鬼神」による伝説の一つとして催されており、北海道遺産にも選定されている登別地獄谷を舞台としている。
●湯鬼神たちが放つ、噴火のような8㍍もの花火に人々は魅了され、温泉郷である登別のPRの一躍を担っている。
●温泉郷ならではのイベントで、近年増加するインバウンドの旅行形態に着目している。
●宿泊客数の増加に伴う温泉街のホテルや旅館など経済効果が大きく、温泉地の活性化を担っている。
●回数を重ねるごとに観客数も増加している。

次回開催日程

■開催日：令和2年6月1日（月）～ 7月31日（金）（毎週木曜日、金曜日）
■開催場所：登別地獄谷展望台周辺
■問い合わせ先：
・団 体 名　一般社団法人登別国際観光コンベンション協会
・住　　所　〒059-0551 北海道登別市登別温泉町60番地
・電話番号　0143-84-3311　・URL　http://www.noboribetsu-spa.jp/